

# 平成27年度予算見積調書

課室名：森づくり課  
 担当名：木材利用推進担当  
 内線：4318

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B87	木のある生活空間づくり事業			一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	木材利用拡大対策事業費	
事業期間	平成14年度～平成30年度	根拠法令	森林・林業基本法 公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律	戦略項目		分野施策	030202	収益を生み出す林業の振興	
<b>1 事業の概要</b> 県産木材の利用拡大を図るため、消費者に対する情報発信と県産木材製品の供給能力強化のための総合的な対策を講じる。  (1) 県産木材認証事業 500千円 (2) 木づかい生活推進事業 1,200千円 (3) 県産木材利用推進事業 500千円 (4) 木のよさ検証事業 2,600千円 (5) 埼玉の木供給システム検討事業 300千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 県産木材認証事業 500千円 「さいたま県産木材認証制度」の運営 イ 木づかい生活推進事業 1,200千円 県産木材の利用拡大を図るための情報発信 ウ 県産木材利用推進事業 500千円 リフォーム等において県産木材利用を誘導できる技術者の育成 エ 木のよさ検証事業 2,600千円 木材の与える効果・有用性の検証 オ 埼玉の木供給システム検討事業 300千円 県産木材の安定的かつ高度な製品供給を図るための供給体制、利用技術の検討等  (2) 事業計画 添付資料のとおり  (3) 事業効果 ・県産木材の供給量 84,000m3(平成24年度) 117,000m3(平成30年度) 安心・安全な県産木材の住宅等への利用拡大が図られることにより、人工林の循環利用が促進され、活力ある「緑」が再生される。また、二酸化炭素の吸収・固定機能など森林の公益的機能の高度な発揮によって、安心・安全な生活の維持・増進にも寄与する。  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ・木材及び設計・建築関係者と連携し、県産木材を利用した住宅の提案、普及を図る。 ・産官学の連携による調査を実施する。 ・地域の事業者の連携による新たな県産木材の供給体制の整備を図る。					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> 添付資料のとおり									
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×6.2人=58,900千円									
				<b>財 源 内 訳</b>					
予算額		国庫支出金						一般財源	前年との 対比
決定額	5,100	225						4,875	5,100
前年額									